

今日のトピック 中国株式市場の振り返りと見通し（2018年5月）

米中貿易摩擦が懸念されながらも小幅上昇

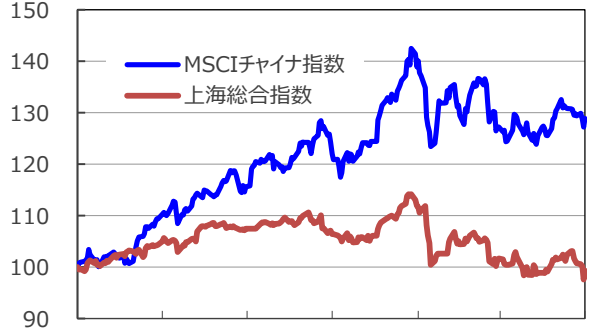
【中国株式市場の推移】

中国株式指数	基準日	騰落率 (%)			
	5月31日	1か月	3か月	6か月	1年
MSCIチャイナ指数	92.56	1.4	▲1.7	5.7	28.9
中国本土市場					
上海総合指数	3,095.47	0.4	▲5.0	▲6.7	▲0.7
深セン総合指数	1,767.55	▲0.5	▲2.4	▲7.1	▲2.3
香港市場					
H株指数	11,978.30	▲2.9	▲3.3	4.4	13.0
レッドチップ指数	4,608.23	1.5	2.0	7.3	12.8

(注) データは2018年5月31日基準。

(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(ポイント) 【上海総合指数とMSCIチャイナ指数】



5/31 7/31 9/30 11/30 1/31 3/31 5/31(月/日)

(注1) データは2017年5月31日～2018年5月31日。

(注2) 2017年5月31日を100として指数化。

(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント1 中国株式市場は小幅高

月下旬に米中貿易摩擦懸念が再燃

- 5月の中国株式市場をMSCIチャイナ指数の動きで見ると、月中旬までは、米中貿易摩擦への懸念が後退したことを受けて堅調な展開となりました。しかし、月下旬は、知的財産権やハイテク分野の対立などで米中貿易摩擦が長期化すると懸念が強まったことに加え、イタリアの政局混迷や一部新興国市場の混乱などから世界的にリスク回避の動きが強まったため、月末にかけ反落し、前月末比では小幅の上昇となりました。

ポイント2 企業業績を取り巻く経済環境は良好

リビジョン・インデックスの改善続く

- 中国の4月の鉱工業生産は前年同月比+7.0%と、3月の同+6.0%から伸び率が拡大しました。IT関連が生産をけん引しました。また、4月の生産者物価上昇率は前年同月比+3.4%と、3月の同+3.1%から加速しました。これらの経済指標は企業業績を取り巻く環境が良好であることを示唆しています。
- リビジョン・インデックス（業績予想の上方修正銘柄の比率と下方修正銘柄の比率の差）のプラスが続いているなど、中国の企業業績は好調を維持しています。

今後の展開 中国A株のMSCI新興国株指数採用は長期的にプラス

- 米国の保護主義に端を発した米中貿易摩擦問題は決着しておらず、今後も米中両国の対話は継続し、結果が出るには時間を要するとみられます。
- 6月からの中国A株のMSCI新興国株指数採用の影響については、当初の組入れ比率が微小であることから短期的な影響は小さいとみられますが、今後外国人投資家の保有割合が増えることは、中長期的な評価の点で大きなプラス材料と考えられます。

ここも
チェック! 2018年5月22日 『株式相互取引』で資金が流入する中国市場
2018年5月15日 底堅く推移する中国経済（2018年5月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。